

令和7年度 学校評価

都留市立谷村第一小学校



本報告書は、保護者アンケート・教職員自己評価・学校評議員会のご意見等をもとに、令和7年度の教育活動を多面的に評価し、次年度への改善につなげることを目的として作成しました。

令和7年度の教育活動におきましては、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、学校評議員の皆様より温かいご支援とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。本校では、『生きる力』を育み、未来生きる児童の育成』を学校教育目標として、子ども一人ひとりが、安心して学び、意欲をもって主体的に学ぶことをめざし、教育活動の充実に取り組んでまいりました。今年度も、保護者アンケート、教職員の自己評価、学校評議員の皆様のご意見など、多様な視点から学校の現状を振り返り、改善点や次年度への課題を明確にするための学校評価を実施しました。

いただいたご意見には、学校への温かい励ましとともに、教育活動の質向上に向けた貴重なご提案が数多く寄せられました。これらは、令和8年度の教育活動をさらに豊かにしていくための大切な示唆となるものです。

今後も、地域・家庭・学校が同じ方向を向き、子どもたちの健やかな成長のために歩みを共にできる学校づくりを進めてまいります。本報告書が、本校の取組と課題についてご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

校長 上野 敦司

1 学校評価結果について

(1) 保護者アンケート

令和7年度学校評価(保護者)集計

令和7年11月実施
都留市立谷村第一小学校

A:そう思う B:どちらとも言えない C:そう思わない

評価項目	No.	具体的な評価内容	今年度 集計(人/％表示)					
			A	B	C	A	B	C
1 学校教育目標	①	谷一小は、学校教育目標を地域や保護者にわかりやすく説明している。	120	30	5	77.4	19.4	3.2
	②	谷一小は、学校教育目標を達成させるために、様々な学習活動や取り組みを行っている。	122	30	3	78.7	19.4	1.9
2 学校経営と組織	③	谷一小は、児童にとって安心して過ごしやすい場所になっている。	116	32	7	74.8	20.6	4.5
	④	谷一小では、学校・地域・家庭が協力して、児童の健全育成や安全のために努力している。	115	37	3	74.2	23.9	1.9
3 学習指導と生徒指導	⑤	谷一小は、児童にとって、分かりやすい授業を行っている。	108	39	8	69.7	25.2	5.2
	⑥	谷一小は、一人ひとりを大切にし、いじめのない学校づくりにとりにくんでいる。	99	47	9	63.9	30.3	5.8
4 地域社会と連携	⑦	谷一小は、地域や保護者の声を反映するための取り組みを行っている。	100	50	5	64.5	32.3	3.2
	⑧	谷一小では、地域や保護者が学校の教育活動に協力している。	120	32	3	77.4	20.6	1.9
5 学校の特色	⑨	谷一小は、ノーチャイムを活用するなど、児童に自主的な態度が身につくような指導を工夫している。	122	29	4	78.7	18.7	2.6
	⑩	谷一小は、ボランティア活動・福祉講話など福祉教育の実践をしている。	99	49	6	64.3	31.8	3.9

本校の教育活動に対し、保護者の皆様からいただいた評価(A:そう思う、B:どちらとも言えない、C:そう思わない)の集計結果と分析をご報告いたします。

① 高い評価をいただいた項目(A 評価 75%以上)

以下の項目については、多くの保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。

- **学校の特色ある指導(ノーチャイム等)**:「児童に自主的な態度が身につくような指導の工夫(ノーチャイムなど)」については、78.7%という高い肯定的な評価をいただきました。
- **学校経営と目標の共有**:「学校教育目標を達成するための様々な活動(78.7%)」や「目標のわかりやすい説明(77.4%)」についても、本校の取り組みを好意的に受け止めていただいています。
- **地域・家庭との連携**:「地域や保護者が学校の教育活動に協力している」という項目も77.4%と高く、皆様の支えを強く実感する結果となりました。
- **児童の安心感**:「児童にとって安心して過ごしやすい場所になっている(74.8%)」についても、概ね高い評価をいただいています。

② 今後の課題として認識している項目(A評価 70%未満)

肯定的な評価(A)が7割を下回った以下の項目については、今後の重点的な改善事項として取り組んでまいります。

- **いじめ防止と一人ひとりを大切にする教育:**「一人ひとりを大切に、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」へのA評価は63.9%となりました。教職員の自己評価(95%)と比べると、保護者の皆様の視点ではまだ十分ではないというギャップが見られます。よりきめ細やかな目配りと、安心感の醸成に努めます。
- **授業の分かりやすさ:**「分かりやすい授業を行っている」については69.7%の評価でした。ICTの活用や、児童の主体的な学びをさらに進め、家庭でも「授業が分かって楽しい」という声が聞かれるよう改善を図ります。
- **保護者の声の反映:**「地域や保護者の声を反映するための取り組み(64.5%)」についても、さらなる双方向のコミュニケーションの充実が求められていると認識しています。
- **福祉教育の実践:**「福祉教育の実践(64.3%)」についても、活動内容のさらなる充実と発信に努めてまいります。

③ 総括と今後の改善方針

今回のアンケート結果から、本校の「自主性を育む指導」や「学校目標の共有」については、保護者の皆様からも高い信頼を寄せられていることが確認できました。

一方で、「いじめ防止の実感」や「授業の分かりやすさ」については、教職員が考えている以上に保護者の皆様の期待が大きいことを痛感しております。今後は、以下の3点を重点的に進めてまいります:

1. **「チーム谷一小」での見守り:** いじめ防止体制をさらに強化し、保護者・地域の皆様と情報を共有しながら、児童の心の安定を最優先します。
2. **授業改善の加速:** 主体的・対話的で深い学びを実感できる授業づくりを目指し、校内研究を充実させます。
3. **対話の機会の創出:** 保護者の皆様の声をより学校運営に反映できるよう、風通しの良い組織づくりを進めます。

また、今回皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、教育活動の改善のために尽力します。

(2) 教職員自己評価

令和7年度学校評価（教職員自己評価）集計				令和7年12月実施 都留市立谷村第一 小学校		
評価項目	No	具体的な内容	今年度			
			A	B	C	
学校教育目標	1	学校教育目標は、児童や地域の実態に即すとともに、その願いが反映されていると思いますか。	91	9	0	
	2	学校、職員は、学校教育目標を地域や保護者に分かりやすく説明していると思いますか。	91	9	0	
	3	学校、職員は、学校教育目標の具現化のために様々な学習活動や取り組みを行っていると思いますか。*	82	14	5	
学校経営と組織	4	学校は、児童にとって安心して過ごしやすい場所になっていると思いますか。*	55	45	0	
	5	学校・家庭・地域が協力して、児童の健全育成のために努力していると思いますか。*	77	23	0	
	6	校舎内外の施設設備が整えられていて、安全であると思いますか。	100	0	0	
	7	学校、職員は、学校での教育の様子や成果を地域や保護者に知らせていると思いますか。	91	9	0	
	8	教職員全体がまとまりを持って、児童の教育に当たっていると思いますか。	68	32	0	
学習指導と生徒指導	9	校務分掌が過不足や偏りがなく適切であると思いますか。	46	45	9	
	10	学校、職員は、児童にとって分かりやすい授業にするための努力をしていると思いますか。*	86	14	0	
	11	児童の学習の様子について、通信表「あゆみ」等で、児童や保護者に分かりやすい評価をしていると思いますか。	86	14	0	
	12	児童が困ったことや悩みについて気軽に相談できる雰囲気があると思いますか。	59	41	0	
地域社会と連携	13	学校、職員は、一人一人を大切にし、いじめのない学校作りに取り組んでいると思いますか。*	95	5	0	
	14	学校、職員は、授業等に地域の人材を活用していると思いますか。	50	41	9	
	15	児童が地域の行事に参加していると思いますか。	55	41	5	
	16	学校は地域や保護者の声を反映するための取り組みを行っていると思いますか。*	77	23	0	
学校の特色	17	地域や保護者が学校の教育活動に協力していると思いますか。*	77	18	5	
	18	学校、職員は、ノーチャイムの実践を通して、児童に自主的な態度が身につく指導をしていると思いますか。*	91	9	0	
	19	学校、職員が、ルールを守って仲良く協力する集団作りを進めていると思いますか。	82	18	0	
	20	学校、職員は、ボランティア活動や福祉講話など福祉教育の実践をしていると思いますか。*	55	45	0	
教育課程	21	「やいちのこタイム」がよい取組になっていると思いますか。	91	9	0	
	22	行事の回数、時間、種類は適切だと思いますか。	82	18	0	
保健管理	23	毎日の日課(日課表)は適切だと思いますか。(登校から下校までの1日の時間の割り振り)	77	23	0	
	24	学校、職員は、児童の健康実態の把握に努め教育活動に生かしていると思いますか。	100	0	0	
食育	25	保健教育において学級・学年と保健室との連携がとれていると思いますか。	91	9	0	
	26	学校、職員は、給食・教科・学級活動等を通して食育に努めていると思いますか	82	18	0	
学校事務	27	学校事務:文書は校長、教頭、係、その他の関係教職員に必要な応じて回覧等により周知徹底がなされていると思いますか。	100	0	0	
	28	学校事務:必要な備品、教材、教具が揃っていると思いますか。	91	5	5	
道徳	29	道徳:児童の考え方や態度、日常の行動などが、道徳性の発達という観点から見て、変容していると思いますか。	55	45	0	
	30	道徳の時間を確保し、考え議論する道徳の授業が成立していると思いますか。	68	32	0	

校内研修	31	校内研:目標達成のために積極的に取り組んでいると思いますか。	86	14	0
	32	校内研修の中味が児童に反映されていると思いますか。	73	27	0
キャリア教育	33	発達段階に応じたキャリア教育に努めていると思いますか。 低学年:人のつながりを大切にしよう 中学年:身近な人から学ぼう 高学年:自分の良さに気付き生き方を考えよう	64	36	0
特別支援教育	34	特別支援教育:校内支援体制は機能していると思いますか。	91	9	0
	35	特別支援教育:通常学級との連携・交流は図れていると思いますか。	77	23	0
PTA	36	PTAは、その機能を果たしていると思いますか。	77	23	0

教職員による自己評価の集計結果と今後の展望についてご報告いたします。

① 本校の強みと成果

今年度の評価において、特に高い評価(肯定的な回答)が得られた項目は以下の通りです。

- **安全・安心な環境整備:** 校舎内外の施設設備の安全管理(100%)や、児童の健康実態の把握(100%)において、極めて高い評価となりました。特にトイレ改修後の環境維持や、アレルギー対応等の情報共有も密に行われています。
- **学校教育目標の共有:** 『『生きる力』を育み、未来に生きる児童の育成』という目標の周知や説明については、91%の職員が肯定的に捉えており、組織としての方向性が明確になっています。
- **組織的ないじめ防止と支援体制:** いじめのない学校づくり(95%)や、特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制(91%)は、組織的に機能していると自負しております。
- **ICTを活用した学び:** タブレット端末を活用した個別最適な学びや、一人一実践などの研修を通じた授業改善には、86%の職員が意欲的に取り組んでいます。

② 特色ある教育活動

児童の自主性や豊かな心を育むための取り組みも、着実に成果を上げています。

- **「ノーチャイム」と「やいちの子タイム」:** 児童が自ら時間を意識して行動する「ノーチャイム」や、仲間と親睦を深める「やいちの子タイム」は、91%という高い評価を得ており、児童の楽しみな時間となっています。
- **地域との連携:** 富士山研究所による防災教育や「つるラボ」との連携など、地域の教育資源を積極的に授業に取り入れています。

③ 今後の課題と改善に向けた取組

評価を通じて明らかになった課題に対し、次のように改善を進めてまいります。

- **児童がより相談しやすい雰囲気づくり:** いじめ防止の体制は整っている一方、「児童が気軽に相談できる雰囲気(59%)」や「安心して過ごせる場所(55%)」という主観的な安心感については、さらなる向上が必要です。些細な変化を見逃さず、児童一人ひとりと向き合う時間を意識的に確保してまいります。

- **教職員の組織力と働き方の改善:** 業務負担の偏り(46%)や情報共有のタイミングに課題があることが分かりました。今後は、ICT(スクリレ等)のさらなる活用による迅速な共有と、全職員で助け合える体制を整え、心の余裕を持って児童の教育に当たれる環境を作ります。
- **地域連携の深化(コミュニティ・スクール化を見据えて):** 令和9年度からのコミュニティ・スクール(CS)発足を見据え、地域との連携をさらに「自分事」として捉え、地域と共にある学校づくりを推進します。

(3) 学校評議員会による評価

学校評議員会で、保護者アンケート、教職員自己評価をご覧いただいたうえでご意見をいただきました。

- **教員不足**で教職員の補充が大変だが、都留文科大学生の活用や、都留市会計年度職員など、人材確保に向けて学校が努力していることが分かる。
- つるラボと連携した**探求的な学び**の成果がある。児童からの「楽しかった」という感想を多く聞いた。以前に比べ、**地域と学校とのつながり**がなくなりつつあるように感じていた。教職員や親とは違う大人と接し、学ぶことは児童の発育上とてもよいことなので、地域とともに創る授業や行事を是非実施してほしい。ふるさと谷村を誇りに思えるような学びを大切にしたい。
- 課題は多々あるが、評価を真摯に受け止め、教職員が協力して学校教育活動を推進するべきである。

4 おわりに

今回の評価結果は、単なる現状の確認にとどめることなく、**令和8年度の教育課程の編成や、日々の指導改善に直結**させてまいります。

特に、令和9年度に予定されている**コミュニティ・スクール(CS)化**を見据え、学校・家庭・地域の三者が「子どもの成長」という共通の願いのもとで手を取り合うことが、これまで以上に重要となります。教職員が「チーム谷一小」としてまとまりを欠かさず、同時に地域や保護者の皆様を大切なパートナーとして連携することで、より開かれた、温かみのある学校づくりを推進いたします。

いただいた温かい励ましや、教育活動の質向上に向けた貴重なご提案の一つひとつは、本校をさらに豊かにしていくために大切にしていきます。児童一人ひとりが「自分が大切にされている」と実感し、未来への希望を持って主体的に学べる環境を整えるため、全職員一丸となって尽力してまいります。

一年間、本校の教育活動をお支えいただいた全ての皆様に、改めて深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年3月 都留市立谷村第一小学校 校長 上野 敦司